



## 地域と共に「みい物語」の創出

昨年度、「盆踊りで叩く和太鼓の伝統を継承したい」という三井地区連合自治会の熱い思いから始まりました。しかし、新型コロナウイルスの感染状況が深刻になったことから、一旦計画が頓挫しました。

その後、コロナ禍の中で「工夫すればできそうなこと」を模索した結果、3年音楽科授業で和太鼓の体験が実現しました。延期に延期を重ね、実施できたのは年度末でしたが……。それでも、子どもたちは大喜び。また、地域ボランティアの方からは、「やってよかった。」という感想を聞くことができました。

今年度は、早い時期から三井地区連合自治会の方と協議を重ねました。

### ① 3年「和太鼓体験」 6月20日(月) 3年生対象

3年生が地域ボランティアの方々から和太鼓の演奏を教わりました。もともとは、盆踊りで使われる和太鼓です。

郷土愛を育む貴重な体験活動です。和太鼓の数は限られているので、個人練習は段ボールを叩いてリズムを覚えさせました。

地域ボランティアの方々には、事前に和太鼓やばちの準備を、当日は新型コロナウイルス感染対策をしていただきました。



3年「和太鼓体験」とパッケージで実施されたのが、「太鼓の達人」企画です。

### ② 「太鼓の達人」 放課後 3年生以上希望者

3年生から6年生の応募者を対象に、和太鼓の練習が行われました。三井地区連合自治会主催による、題して「リアル太鼓の達人になるドーン」。地域の伝統を守り子どもたちに継承していくことを目的に企画されました。

3年生が2回にわたって、総合的な学習の時間で和太鼓の体験をさせていただき、その放課後に「太鼓の達人」企画。



### ③ 盆踊りの練習 7月20日(水) 6年生対象

夏休み前に、6年生が三井地区連合自治会や地域ボランティアの方々のご協力により、盆踊りの練習をしました。地踊りや「光市民音頭」を実演で指導していただきました。繰り返し踊っているうちに、6年生の動きも少しずつ様になっていきました。見よう見まねで学ぶ。これこそ伝統文化の継承かもしれません。

地域の方々も、やりがいを感じておられるように見えました。6年生には、ふるさと三井に愛着と誇りをもち、次の世代の三井を支える存在になってほしいと願っています。



### ④ 三井地区盆踊り大会当日 8月14日(日) 6年生希望者(スタッフ)・3年生以上希望者(太鼓)



3年「和太鼓体験」から始まり、放課後の「太鼓の達人」企画、そして6年「盆踊り練習」と展開した取組は、「三井地区盆踊り大会」の中で形となりました。

きめ細かな安全対策を講じた上で、コンパクトに運営された盆踊り大会は、次につながる確かな一歩になりました。



①②③④の企画は、三井地区連合自治会の方と知恵を出し合ったストーリー性のある取組です。初めての試みが多いので、様々な失敗や問題が生じることもありました。それでも、**地域と共に知恵を出し合い、みんなで取り組むこと**に大きな意義を感じています。地域と共に、みんなで楽しくできる「みい物語」を創出できれば素敵なことです。

